

# 御 挨拶

常任指揮者 佐々木 基之

レクイエムはフォーレの最高傑作であります。あまねく人類に与えられる余りにも深い神の愛情を感じ、演奏中涙することも屢々でした。今宵の演奏会は死者のためのみならず、皆様が心を空しくしてひたすら聴いて下さったなら、人生の世の荒波から暫し生き乍ら天国に在る法悦の境にあそぶことが出来ることでしょう。神はフォーレを通じ人類に神の恩寵を示し給うたものと思われます。

この名曲を、私が指揮するのではなく、神の加護のもとに我々の心が一つとなった合唱の素晴しさを皆様と共に讃えたいものです。

そして私は、私の生涯の中で今宵の感激を貴重なものとして梨大合唱団との巡り会いを改めて神に感謝すると共に、団員諸君がいつまでもこの心を失わぬことを祈ります。

御来聴有難うございました。

## 分離唱による大曲への取組み

合唱団顧問

山梨大学合唱団が佐々木基之先生の御指導を受けるようになってから2回目の定期演奏会を迎えることになった。

佐々木先生の指導法は「分離唱」と名付けられているもので、これは一言で言えば、和音の純粹さを追求しようとする唱法であると言えるだろう。平均律に毒された鍵盤楽器を離れて、耳を頼りにした音を作り上げようとするのである。

そうした練習の結果、今年の演奏会では音がきれいになったことが感ぜられた。それまでどちらかというと不得手であった小曲がニュアンス豊かに歌い上げられた。けれども、その反面、迫力に乏しいという批判がOB連中などからあったことも事実である。それを聞きながら、この分離唱で大曲を演じるとどうなるかということが私の疑問であった。

今年はフォーレのレクイエムという大曲に取り組むことになり、この疑問に答えていただけることになった。梨大合唱団の健斗に大いに期待したい。

### 山梨大学合唱団第二回東京公演

1975年3月14日(金) PM 7:00

神宮外苑 日本青年館大ホール